

観光

The Future of
Naze
Tourism

自然の楽園を自由自在に案内する知恵と道具で 21世紀の奄美の観光の パイオニアになりそうな人たちだ。

**“These people will apply their intelligence and tools
to introduce a natural paradise, and pioneer tourism in Amami
in the 21st century.”**

「この仕事をひとつの産業として育てたいですね。」昭和52年にUターン、島内のホテルに勤務したのがきっかけで、平成6年12月、奄美大島で唯一のアウトドア専門店を開いた荒田さん。アウトドア用品の販売やレンタルのほか、マングローブのカヌーツーリングやバードウォッチングなど、体験型の新しい観光の企画とガイドをしている。

「ホテルマン時代、観光客にマングローブを見せたら感動して中にも入りたいと言うのです。試しにひとりで行って見たら『これはいける』と確信を持ちました。」

観光開発・リゾート計画を急がなかったことで特異な自然を残す結果となり、これからが本当の意味で奄美の観光を見直し、人材を

育てる時期だと。

「展望台やバスの窓から見る風光明媚な景色とカヌーに乗って水の上から見る手つかぬ自然では感じ方に大きな違いがありまして、カヌーを漕ぎ、汗を流し、肌で触れた大自然の印象は忘れ難く、従来の一過性の観光が滞在型・再来型へ移行すると思います。」

とはいえ、始めてからしばらくは利用客は少なく不安が続いたが、東京の情報誌に掲載された頃から仕事が入るようになり、今では航空会社のオプションツアーとの提携、日本野鳥の会のネイチャースクール、さらにイギリスやアメリカからのバードウォッチャーのガイドなど忙しくなってきた。

「このスタイルの観光が産業として認知されれば、美しい自然を守りつつ独自の発展にもつながり、若者の流失に歯止めがかかるはず。だから、もっと地元の人が自然の中に飛び込んで楽しんでほしいです。」



荒田 政行さん
Masayuki Arata
(昭和28年2月22日生まれ)
(born February 22, 1953)
アウトドアショップ経営・
奄美自然案内人

フアンテンバイクも近々加わり、将来の夢
のキャンプ場を持ちたいと語る政行さ
の飛光さん。自然の楽園を自由自在に

案内する知恵と道具で、21世紀の奄美観光の
パイオニアになりそうな人たちだ。